

第55期  
中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日



技研興業株式会社

## ■ 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成24年9月30日をもちまして第55期第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）を終了いたしましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、よろしくご高覧のうえ、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 木村 温

## ■ 当社グループの営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調にあったものの、欧州債務問題の再燃や中国での景気後退、円高の常態化等から景気減速感が広がり、依然として不安定な経済環境のまま推移いたしました。当建設関連業界におきましては、震災による設備の修復等もあり設備投資は下げ止まりがみられ、やや持ち直してきており、明るい兆しがある一方、原材料供給難や人手不足等から原価の上昇や工事進捗の遅れがみられる等、本格的な好転までにはまだ予断を許さない状況が続いております。このような環境のなか、当社グループは、東日本大震災の復旧・復興需要に積極的に取り組むほか、従前より推進してきた事業分野毎の受注戦略が奏功してきた結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は77億7千5百万円（前年同期比47.5%増）を達成し、前年同期に比べ大幅な増加となりました。売上高は好調な受注状況を背景に、各セグメントとも概ね堅調に推移した結果、54億2千9百万円（前年同期比61.2%増）となりました。利益面につきましては、固定経費を吸収できるだけの売上高の増加があったこと及び業務の効率化と徹底的なコスト削減を実施したこと等から、営業損益は1億2百万円の営業利益（前年同期は4億2千1百万円の営業損失）、経常損益は9千2百万円の経常利益（前年同期は4億1千9百万円の経常損失）、四半期純損益は7千7百万円の四半期純利益（前年同期は4億4千7百万円の四半期純損失）となり、前年同期に比べ黒字転換し、増収増益となりました。

## ■ グループの今後の展開

当第2四半期連結累計期間は、期初計画を大きく上回る結果となりました。この結果は、復興関連需要が寄与した部分もありますが、熾烈な企業間競争を勝ち抜き、各事業部門それぞれが独立して利益を計上できる組織体制を確立させるという方向性が社員に浸透してきたが故と考えております。この指針は平成24年4月に策定した「新三ヵ年計画」の根幹を成すべきものであり、当計画の終着として見据えているものは、公共事業に依存した「災害待ち」の企業姿勢ではなく、災害需要は「プラスα」となる企業創りであり、復興後を見据えた新規事業の創造、海外事業への展開等が次の技研興業グループの姿であります。

今後は、この努力の継続と当社グループへ吹いている追い風を確実に取り込んで、営業活動に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 企業集団の財産及び損益の状況の推移

（単位 百万円）

項目	期別	第52期 平成21年度	第53期 平成22年度	第54期 平成23年度	第55期 平成24年9月 当第2四半期（累計）
売上高		10,503	10,201	10,434	5,429
経常利益（△は経常損失）		142	△8	65	92
当期純利益（△は当期純損失）		99	△108	30	77
1株当たり当期純利益 （△は1株当たり当期純損失）		6円07銭	△6円63銭	1円88銭	4円73銭
総資産		8,549	8,883	10,082	9,730
純資産		5,411	5,253	5,260	5,323

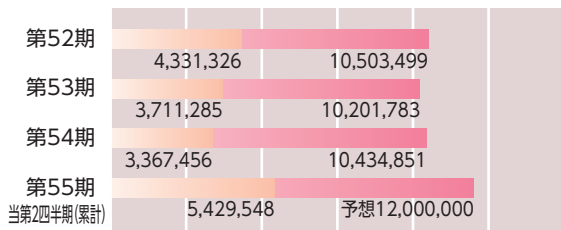
## ■ 連結貸借対照表 (要約)

(単位 千円)

科目	期別	金額	
		当第2四半期末(第55期) 平成24年9月30日現在	前期末(第54期) 平成24年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		5,417,096	5,836,650
固定資産		4,313,288	4,245,493
有形固定資産		4,015,723	3,914,147
無形固定資産		16,681	17,400
投資その他の資産		280,883	313,945
<b>資産合計</b>		<b>9,730,385</b>	<b>10,082,143</b>
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		2,907,002	3,525,401
固定負債		1,499,916	1,296,666
<b>負債合計</b>		<b>4,406,919</b>	<b>4,822,068</b>
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本		5,306,670	5,229,577
資本金		1,120,000	1,120,000
資本剰余金		1,473,840	1,473,840
利益剰余金		2,745,146	2,667,703
自己株式		△32,317	△31,966
その他の包括利益累計額		16,796	30,497
その他有価証券評価差額金		16,796	30,497
<b>純資産合計</b>		<b>5,323,466</b>	<b>5,260,074</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>9,730,385</b>	<b>10,082,143</b>

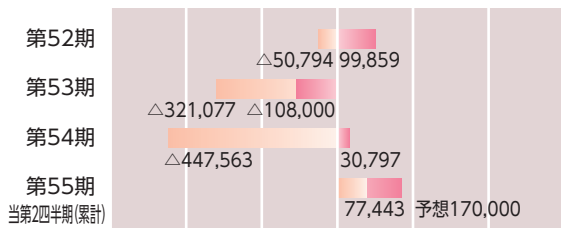
### 売上高

(千円)



### 当期純利益 (△は純損失)

(千円)



## ■ 連結損益計算書 (要約)

(単位 千円)

科目	期別	金額	
		当第2四半期(累計) 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	前第2四半期(累計) 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
売上高		5,429,548	3,367,456
売上総利益		713,482	179,968
営業利益又は損失(△)		102,919	△421,540
経常利益又は損失(△)		92,363	△419,901
税金等調整前四半期純利益又は損失(△)		96,384	△436,258
四半期純利益又は純損失(△)		77,443	△447,563

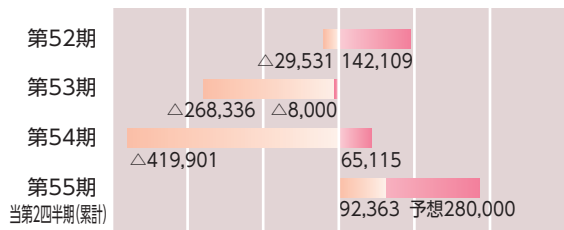
## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位 千円)

科目	期別	金額	
		当第2四半期(累計) 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	前第2四半期(累計) 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		642,374	413,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		△200,618	△374,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		△183,343	145,287
現金及び現金同等物の増減額		258,412	184,196
現金及び現金同等物の期首残高		509,976	522,289
現金及び現金同等物の四半期末残高		768,388	706,456

### 経常利益 (△は損失)

(千円)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期

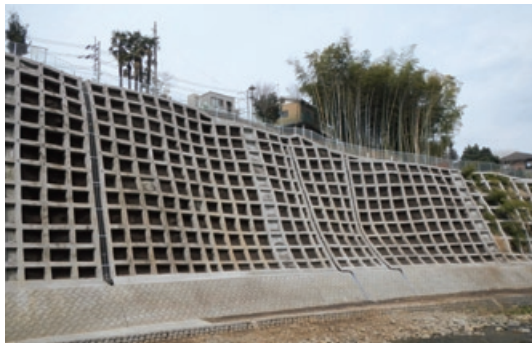
### 平成25年3月期連結業績予想

(平成24年11月14日公表数値)

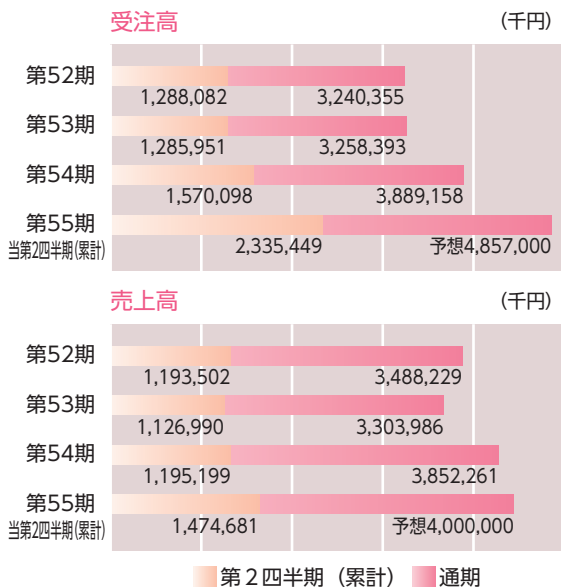
売上高	120億円
営業利益	3億円
経常利益	2億8千万円
当期純利益	1億7千万円
1株当たり当期純利益	10.38円

## ■ セグメント別の概況

### 土木関連事業



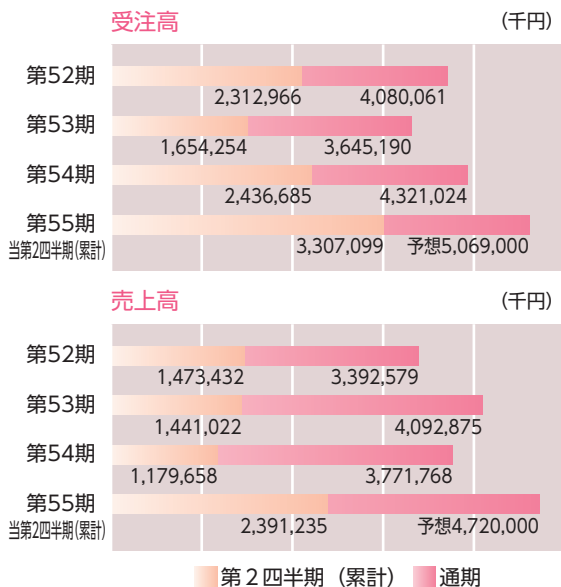
法面保護工事等が主体の当事業は、以前より重点的に営業活動をしていた地域での受注獲得が実現しつつあること及び復興需要の受注活動が好調であること等から、受注高は前年同期比48.7%増の23億3千5百万円、売上高についても堅調に推移し、前年同期比23.4%増の14億7千4百万円となりました。



### 建築関連事業



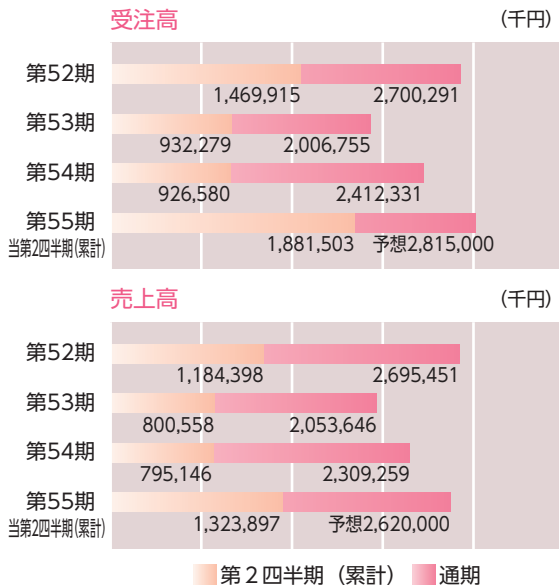
医療施設向けの放射線防護、電磁波シールド工事等が主体の当事業は、従前のシェア拡大に力点をおいた受注活動が徐々に受注高に反映してきた結果、受注高は前年同期比35.7%増の33億7百万円、売上高については、前連結会計年度の繰越高が売上高に計上される等、工事進捗も順調に推移したことから前年同期比102.7%増の23億9千1百万円と大幅に増加しました。



## 型枠貸与関連事業



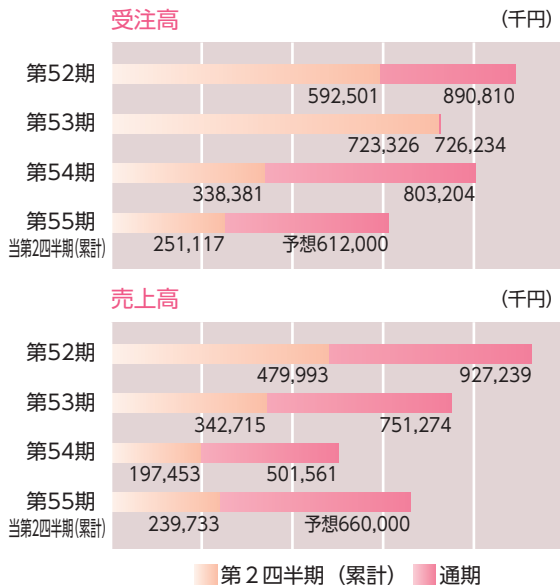
波消ブロック製造用型枠の賃貸及び環境保全型ブロックの製造販売が主体の当事業は、遅れていた東日本大震災の復旧・復興関連の受注が漸く寄与し、また年度後半での受注予定案件も多数前倒し受注計上となったこと等から、受注高は前年同期比103.1%増の18億8千1百万円、売上高につきましても前年同期比66.5%増の13億2千3百万円と前年同期を大幅に上回りました。



## その他事業



戸建住宅等不動産販売ならびに公共施設のリフォームを主としているハウジング事業においては、戸建分譲地の工事進捗の遅れから本格的な成約には至らなかった等から、受注高は、2億5千1百万円と前年同期比25.7%減となったものの、売上高は、前連結会計年度に取得した事務所用テナントビルの収益が堅調に推移したこと等から前年同期比21.4%増の2億3千9百万円となりました。



## 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

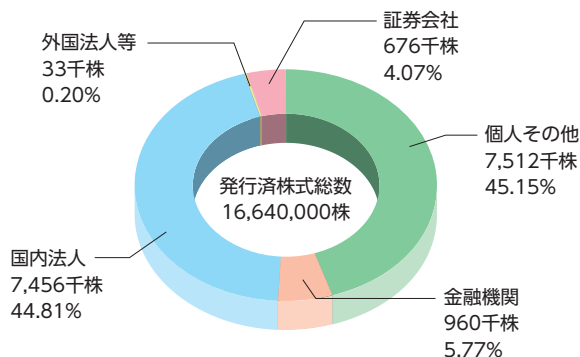
発行可能株式総数	66,000,000株
発行済株式の総数	16,640,000株
	(自己株式260,831株含む)
株主数	5,478名

### 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	持株比率
フリージア・マクロス株式会社	4,299 千株	26.24 %
株式会社一や	1,276	7.79
有限会社ケイエムシー	900	5.49
技研興業従業員持株会	450	2.74
角田式美	378	2.31
清水直	341	2.08
明治安田生命保険相互会社	321	1.95
日本証券金融株式会社	246	1.50
勝川建設株式会社	213	1.30
武井博子	199	1.21

(注) 持株比率は、自己株式260,831株を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 会社の概要 (平成24年9月30日現在)

商号	技研興業株式会社
所在地	〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南三丁目7番2号
TEL	03 (3398) 8500
URL	http://www.gikenko.co.jp/
設立	1958年7月9日
資本金	11億2,000万円
従業員数	197名
主な事業所	札幌市、青森市、仙台市、さいたま市 横浜市、新潟市、大阪市、高知市 福岡市、八王子市 (総合技術研究所)

### 連結会社の概要

商号	株式会社ゼックス
所在地	〒193-0801 東京都八王子市川口町1540
資本金	35,000千円
事業内容	建設コンサルタント業

商号	日動技研株式会社
所在地	〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南三丁目7番2号
資本金	85,000千円
事業内容	建設資材のレンタル及び販売

### 役員

代表取締役社長	木村 温 (管理本部長)
取締役常務執行役員	澁谷 英夫 (土木事業本部長)
取締役常務執行役員	柳原 洋一 (テクノシールド事業本部長)
取締役執行役員	高祖 進 (土木事業本部副本部長)
取締役会長	中瀆 昭人
常勤監査役	阪本 稻男
監査役	説田 恒彦
監査役	神田 豊實*
監査役	小野 紘一*

(注) \*は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。



## トピックス

### ■ 堤防の復旧工事が始まりました。

震災で甚大な被害を受けた海岸堤防の復旧に向けて、堤防の被覆ブロック設置工事が始まりました。

仙台南部海岸では「ロウタスユニ」が採用され、その特徴は、無限に繋がる類い希な連続性にあります。屈撓性があるため地盤変動にも対応でき、たくさんの孔から波を呑み込み、捨石層を通してゆっくりと海へ返す「息をする護岸」が完成します。

未曾有の大震災から1年半、着々と復興は進んでいます。



仙台南部海岸

### ■ 第12回放射線遮蔽国際会議（ICRS-12&RPSD-2012）に出展いたしました。

今回で12回目となる放射線遮蔽国際会議が2012年9月3日～9月7日の間、奈良市奈良新公会堂で開催されました。

放射線遮蔽国際会議は、放射線遮蔽に係わる国際的な研究の進展の総括、今後の研究動向と重点領域についての専門家の議論、放射線遮蔽を機軸とした研究の促進、世界における原子力エネルギー放射線利用の発展に資することを目的に日米欧の三極で順次開催されており、展示ブースに放射線遮蔽容器「BSBバケット」を出展いたしました。



放射線遮蔽容器「BSBバケット」

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
公 告	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="http://www.gikenko.co.jp/kokoku.html">http://www.gikenko.co.jp/kokoku.html</a> ) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び 特別口座の名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同 取 次 事 務	取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

### (お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株の買取・買増等のお申し出について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がない株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

技研興業株式会社ホームページ  
<http://www.gikenko.co.jp/>



技研興業株式会社

東京都杉並区阿佐谷南三丁目7番2号

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。